

—— WG 報告 ——
核医学画像の定量化・基準化アンケート調査にご協力のお礼と結果報告書掲載に関するお知らせ

日本核医学技術学会 学会長 福喜多 博 義

関係各位

平素より日本核医学技術学会の活動にご尽力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、核医学は20世紀の後半から急速に発展し、非侵襲的に様々な臓器の特徴を機能画像として医療の場に提供してきました。新しい医薬品の開発と検査機器の進歩が両輪となり、発展を遂げてきました。しかし、他のモダリティの進歩発展は凄まじいものがあり、核医学の独壇場でありました機能画像の領域にまで及んでいます。核医学の更なる発展のためには核医学画像の信頼性や客観性を向上させ、EBM (evidence-based medicine : 科学的証拠に基づく医療) を確立することが重要と考えます。しかし、核医学が大きな自由度を持つことで発展してきた経緯があり、核医学画像の現状は、必ずしも基準化された画像とは言えないと思われます。また、優れた画像や基準化された画像がどのようなものか、どうすればそれを実現することができるのか、を判断する指標がないため実際に出力された画像の品質にもバラツキが生じていると思われます。

そこで、本学会では基準化に向けた第一歩として、「核医学画像の定量化・基準化のための調査研究ワーキンググループ」を編成し、昨年5月に全核医学診療施設を対象に「核医学診療の実態と画像の収集・処理・表示・出力の標準化に関するアンケート調査」を実施しました。昨年7月の第23回日本核医学技術学会総会（金沢市）にて中間報告を行い、この度全項目の詳細な報告書をまとめました。

この報告書から核医学診療に携わる医師の不足、専任技師の不足、機器メーカーに対する現場の生の意見、定量化・基準化に対する意識、今後の核医学診療の予測等、核医学診療の現状をつぶさに感じることができました。そして、核医学技術第24巻2号（平成16年6月10日発行）に掲載すると同時に、広くアンケートにご協力いただきました方々にお示しするために学会ホームページに掲載しました。

アンケートにご協力いただきました核医学診療施設の関係者の方々に、お礼を申し上げますとともに、ここにご報告いたします。

平成16年8月吉日

(記)

日本核医学技術学会ホームページ URL

<http://www.jsnmt.umin.ne.jp>

トップページ

「画像の定量化・基準化 WG アンケート調査報告」

PDF ファイル24ページ